

---

# 明るい絶望

並盛りライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
明るい絶望

【Nコード】  
N1148C

【作者名】  
並盛りライス

【あらすじ】  
彼との関係はいつもと変わらない。私は諦めたつもりになっていて、明るい絶望が私を飲み込もうとしている。

『今日こそは』『今日だけは』なんて自らをバラバラに区切つて、ドロドロの愛憎を振り撒いて、何かを諦めたり諦めたふりをしたりする。

二時と一時五十九分の間で、占いの効力とはとくに切れていて、安っぽい香水と惨めな煙草の匂いがやけに鼻につく。

酒とセーエキで飲み下した言葉の輪郭を撫でて、君が湯上がりに飲むコーヒーを煎れる。

私の役割はただ、ネクタイをどれだけ上手く結べるかつて事にかかつていて、いつてらっしゃいのキスは私のものじゃないんだと誰かが言った。

『欲しいものを挙げればキリがないよ。誰だつて何かに飢えながら綺麗になるんだから』って死んだお姉が言つてたつけ。

ごめんね、それでも生きていたんです、だから痛いんです。

バスルームの中では、彼は、いつでも不機嫌だ。やった後は冷たくなるって知つてたけど知らないふりをしている。

渴いた口の中が、異常に熱くて、お湯でうがいをした。

蛇口からは君が浴びるシャワーと同じ水が流れているんだ。

几帳面に丸めて用意してあったネクタイを、慣れた手付きで手にとった。

こつという、一つ一つの動作にも時間をかけたという私つてウザイのかもね。

コーヒーをカップに注いで、ティースプーンを置く。彼の為にスリツを用意する。鞆は昨日、玄関に置いたままになっていたので、イスに置く。

バスルームから出てきた彼が無言でコーヒーを一口飲む。それから着替えが始まる。それはYシャツから始まって、ジャケットで終わる。

その一つ一つの動作を見守る、子供を見守る母親のように慈しみ深く。

それから、少し温くなった残りのコーヒーを一気に飲み干す。私がネクタイを結ぶ。

そんなに時間はかかっていない、せいぜいが一、二分ぐらいだろうか。

玄関で私達は、初めて視線を合わす。目で会話する。黙ったまま、どちらからともなく視線を外す。

それで終わり。あとには何もない。彼の温度も感触も音も匂いすら無い。

ニュートンは林檎が墜ちた理由は考えるくせに、墜ちた林檎がどう思ったのかは考えない。理系なのかな。

私は、本当にゆつくりとシャワーを浴びる。時には一時間以上も、バスルームに立て籠る事もある。

それから部屋をモデルルームみたいに綺麗に掃除する。痕跡を消すために、証拠を消し去るように。丁寧に掃除をする。

気付くとお昼を過ぎていて、戸締まりをして家を出る。家を出る時に、新聞受けに合鍵を入れる。

その後に向かう場所がどこであっても私は死にたくなる程、何かを恥じている。例えばそれが、実家でも漫画喫茶だとしても、麻痺していた気持ちが溢れ出してきて、何も考えられなくなる。

感情を上手く制御しているつもりでも、翻弄されている。そんな時は、死んだお姉が言った言葉を思い出している。

『何かを諦めた瞬間に、望みは絶たれる、明るい絶望が何もかも飲み込んでいってしまう前に何かに見切りをつけないと耐えられない』

そして彼女は、自分の生に見切りをつけた。正しい事を正しいというのは簡単だけれど、間違っている事を間違っていると言うのは難しい。

私も何かを諦めた人間として、見切りをつけないといけないのだろうか。

誰よりも生に執着したがるこの肉体を棄てる事なんてできるのだろつか。

私は私を殺せずにした。そして、彼の自宅に繋がる電話番号を調べようとしている。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1148c/>

---

明るい絶望

2010年10月28日02時53分発行